

い ま
現代に生きる
梧陵の精神

～ Keeping the Spirit of Hamaguchi Goryo Alive ～



令和3年 11月5日(金) 13:00～16:00

和歌山県民文化会館 小ホール

【参加費】無料 【会場定員】150名(予定) 【WEB定員】なし

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、会場定員の変更や無観客・LIVE配信のみとなる場合がございます。
※申込多数の場合は抽選となります。また落選となった方もLIVE配信でご視聴いただけます。

WEBによる
同時配信も実施
《事前申込制》

※zoom使用

【応募期間】令和3年10月1日(金)～10月20日(水) 消印有効

プログラム

13:00～13:30 [オープニング] 和歌山県知事挨拶・来賓挨拶
濱口梧陵紹介《ビデオ上映》



中江 有里氏
(女優・作家・歌手)

13:30～14:10 [講演: 第1部]



河田 恵昭氏
(関西大学社会安全学部特別任命教授・
社会安全研究センター長)

14:10～14:50 [講演: 第2部]

14:50～15:10 (休憩)

15:10～15:30 [事例発表1] 和歌山県立耐久高等学校生徒

15:30～15:50 [事例発表2] ユニタール(国連訓練調査研究所) 研修生

15:50～16:00 [エンディング] 広川町長挨拶

濱口 梧陵 はまぐち ごりょう
(1820-1885)



文政3年(1820)6月15日、広村(現在の和歌山県広川町)で生まれ、34歳(1853)でヤマサ醤油の社長(七代目儀兵衛を襲名)となる。

翌年の安政元年(1854)、35歳のときに、安政の大地震・大津波に襲われた広村で、稲むらに火を放ち、多くの村人の命を救った行動は、世界的に有名な作家、小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)の「A LIVING GOD(稲むらの火)」の物語のモデルとなった。

また、安政2年(1855)2月に、私財を投じて、着工した築堤工事は、安政5年(1858)に完成し、今も広村堤防として残っており、後の昭和南海地震(1946)の津波から人々の命を救っている。福沢諭吉や勝海舟、関寛斎などの歴史的偉人との交流があり、学校教育や医学などの発展にも大きく貢献し、初代駅頭(後の郵政大臣にあたる)や和歌山県議会初代議長を歴任している。

山青し 海青し 文化は輝く
紀の国わかやま文化祭2021
第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会
令和3年10月30日(土)～11月21日(日)

《紀の国わかやま文化祭2021 応援事業》

【主催】和歌山県・広川町

申し込み方法は裏面をご覧ください

現代に生きる 榎の精神

～ Keeping the Spirit of Hamaguchi Goryo Alive ～

中江 有里 なかえ ゆり

女優・作家・歌手



【講演テーマ】
歴史から見える、未来の道

【プロフィール】
女優・作家・歌手。
1973年大阪府生まれ。法政大学卒。
89年芸能界デビュー。
数多くのTVドラマ、映画に出演。近
著に小説『万葉と沙羅』（文藝春秋）
など。文化庁文化審議会委員。
2019年に歌手活動を再開。21年
1月にアルバム『Port de voix』、
9月にシングル「コントロール」を発
売。

河田 恵昭 かわた よしあき

関西大学社会安全学部特別任命教授・社会安全研究センター長



【講演テーマ】
濱口梧陵を世界の英雄にする！

【プロフィール】
関西大学社会安全学部特別任命教
授(チェアプロフェッサー)・社会安全
研究センター長。工学博士。専門は防
災・減災・縮災。現在、阪神・淡路大震
災記念 人と防災未来センター長(兼
務)のほか、京大防災研究所長を歴
任。京都大学名誉教授。2007年国連
SASAKAWA防災賞、09年防災功
労者内閣総理大臣表彰、10年兵庫県
社会賞受賞、14年兵庫県功労者表彰、16年土木学会功績賞、17年ア
カデミア賞、18年神戸新聞平和賞受賞。日本自然災害学会および日本
災害情報学会会長を歴任。

和歌山県立耐久高等学校

和歌山県立耐久高等学校は、濱口梧陵らが幕末の国際情勢に備える人材養成のため、1852年(嘉永5年)、広村(現広川町)に「自学自労」の教育方針で開いた稽古場「耐久社」に起源を持つ。「耐久社」から「耐久学舎」「耐久中学校」と改称し、有田高等女学校と合併、まもなく170周年を迎える、歴史と伝統を持つ全国でも有数の古い高校の一つ。受け継がれる濱口梧陵の精神のもと、社会への貢献を目指し、地域で様々な活動を積極的に行っている。

ユニタール(国連訓練調査研究所)

ユニタールは、個人や団体への創造的な研修を通じて、よりよい未来のための世界レベル・国家レベルでの意思決定を促進する国連機関で1963年に設立。スイス ジュネーブの本部のほか、2003年に開設された広島事務所をはじめ、ニューヨークやボンなど、世界中に様々な拠点やネットワークを持つ。各国の行政関係者が様々なテーマで研修を受講しており、毎年、防災の現地研修として、和歌山県・広川町を訪問している。

応募方法

当日の視聴方法(来場・LIVE配信)はご応募の際にお選びいただけます。

Web

右記QRコードから特設サイトの応募フォームに記入し、ご応募ください。
<http://goryo-symposium.telewaka.tv/>



県民文化会館へ
お越しの方には
濱口梧陵生誕200年
記念シートを
(切手シート)
プレゼント!!
WEB参加の方にも
抽選で100名様にプレゼント!

はがき

はがきに下記必要事項をご記入いただき、ご応募ください。

- ①郵便番号 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④電話番号 ⑤当日の視聴方法(来場・LIVE配信)
- ⑥LIVE配信での視聴を希望される方はメールアドレス、切手シートの抽選(応募する・応募しない)
※後日、視聴用URLをお送りします。 ※会場の抽選で外れた場合でもLIVE配信視聴を希望される方は記載してください。
- ⑦来場希望の方で次に該当する方はご記入ください(車いすで来場・手話通訳希望・要約筆記希望・その他)
- ⑧入場希望人数(1人または2人/①～⑤は申込者全員分を、⑥～⑦は該当する方のみご記入ください)

宛先

〒640-8533 和歌山市栄谷151番地

株式会社テレビ和歌山 営業部「濱口梧陵偉業顕彰シンポジウム」係

【個人情報の取り扱いに関して】

個人情報の取り扱いに関しましては、和歌山県個人情報保護条例その他個人情報関連に関する法令を遵守し、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適正に取り扱いさせていただきます。当募集内容の告知・報告に関わるもの以外には一切使用いたしません。なお、新型コロナウイルスの感染者が発生した場合、感染拡大防止を理由に、事務局より参加者の個人情報を調査機関に提供すること、他の参加者に感染者の発生を連絡することをご了承ください。

【新型コロナウイルス感染症に関するお願い】

この度の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、事務局ではイベント前・中・後で感染予防対策を講じます。イベント中は3密状態の回避に努め、①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗いやアルコール消毒の実施 ④検温(※当日発熱などの症状がみられる場合は参加をご遠慮いただく場合がございます)を実施致します。

応募に関する問合せ先

株式会社テレビ和歌山

TEL.073-455-5721 FAX.073-452-7380

10:00～17:00(土・日・祝は不可)

シンポジウムに関する問合せ先

和歌山県危機管理・消防課

TEL.073-441-2273 FAX.073-422-7652

9:00～17:45(土・日・祝は不可)